



大事なことは市民が決める! 環境・福祉優先のまち



地域の力で子育ち・子育て

いじめや虐待が後を絶ちません。しかし、事が起つてから加害者を厳罰に処すのではなく、その原因への対応がなければ、いじめや虐待は減りません。

訪問型の子育て支援で、子育ての不安を解消する必要があります。

また、いじめの問題は学校の中だけでなく、生活環境や社会との関係など原因は様々です。**格差社会の中で、学習の機会を充分に得られない子どもの増加も深刻です。**

これらの問題を、いち早く把握し対応するために**1校に1人のスクールソーシャルワーカー**の配置を求めます。

また、**地域の力を活用し、子どもの居場所**をつくっていくことが必要です。

みどりの保全と水循環

西東京市の緑は急速に減少しています。**ヒートアイランド現象の緩和**、憩いの場、雨水涵養など、緑地、農地の果たす役割は大きく、保全していく必要があります。生活者ネットの提案してきた「**みどり基金**」は創設されましたが、運用・活用が課題です。東大農場は里山として活用・保全をすすめます。



創エネルギーで脱原発

気候変動を止めるには、省エネとエネルギー源の転換が必須です。**太陽光エネルギー**の積極的な導入、家庭の**廃食油からつくるディーゼル燃料**で、はなバス、ごみ収集車などを走らせるなどを提案しています。これらの新エネルギーは、災害時の停電、ガソリン不足にも**代替え可能なエネルギー**となります。



高齢になつても地域で安心して暮らす

西東京市の介護認定者は、現在 8000 人強。来年**4月の改正介護保険制度の施行**で、要支援 1・2 の訪問・通所介護は予防給付から外され、自治体ごとの「**生活支援事業**」となり、自治体の裁量に左右されることになります。住み慣れた地域で暮らすには介護や認知症の「**予防**」が重要です。また、**介護者をひとりにせず支えるしくみや、「買い物難民」ともいわれる公共交通の空白地域の高齢者**のための対策が必要です。

いずれの課題にも、積極的に取り組んでいる**NPO**などが、市内には多くあります。生活者ネットの調査では、51%の人が**市民の力の活用**が必要と回答があり、**福祉のまちづくり推進**のため、**市民と行政の協働**がますます重要となっています。また、**医療・看護・介護の連携**も、同調査で多くの要望があり、安心して地域で暮らし続けるため連携の構築を求めます。

地域の力で防災・減災

生活者ネットが提案してきた**防災会議への女性参画**は実現しました。災害弱者の視点が防災・減災には欠かせません。**避難支援プラン**の早期の策定と、**市民参加でつくる地域ごとの防災計画**が必要です。また、ゲリラ豪雨による水害被害が頻発。ハザードマップを更新し、周知と改善の推進を求めていきます。

議会改革

市長・行政だけで市政運営されることを防ぎ、複数の多様な**市民意見**を反映し、チェックするのが、**合議制代表機関**としての議会の責務です。また、その前提に市民参加は欠かせません。**市民に開かれ、討議する議会**にするために、**議会基本条例**の制定をすすめます。

生活者ネットワークってなに?

生活者ネットワークは、都内 34 自治体にあり 3 人の都議会議員と 52 人の市・区議会議員をもつ地域政党です。

生活者ネットワークは、「政治は暮らしを豊かにする道具」ととらえ、市民の生活の中にある問題や地域の課題を政策化し、そこに関わる人とともに解決します。生活者ネットワークの議員は問題解決のコーディネーターとして政治と生活をつないでいます。

(数字は '14.9月現在)

生活者ネットワークの 3 つのルール

- 議員はローテーション
生活者ネットワークの議員は最長でも 3 期 12 年で交代し、議員を職業、特権化しません。ローテーション後は、市民活動などに経験をいかします。
- 議員報酬は市民の活動資金に
議員報酬は市民の政治活動資金として使い、お金の流れはすべて公開します。
- 選挙はすべて手づくり
選挙は市民のカンパとボランティアで行います。



生活者ネットワークの活動リポート No.88 北版

発行者/西東京・生活者ネットワーク

発行責任者/清水浩子 発行日/10月1日

〒202-0015 西東京市保谷町6-25-1-1F

TEL 042-453-4121 FAX 042-410-0014

E-mail : nishitokyo@seikatsusha.net

http://nishitokyo.seikatsusha.me/